

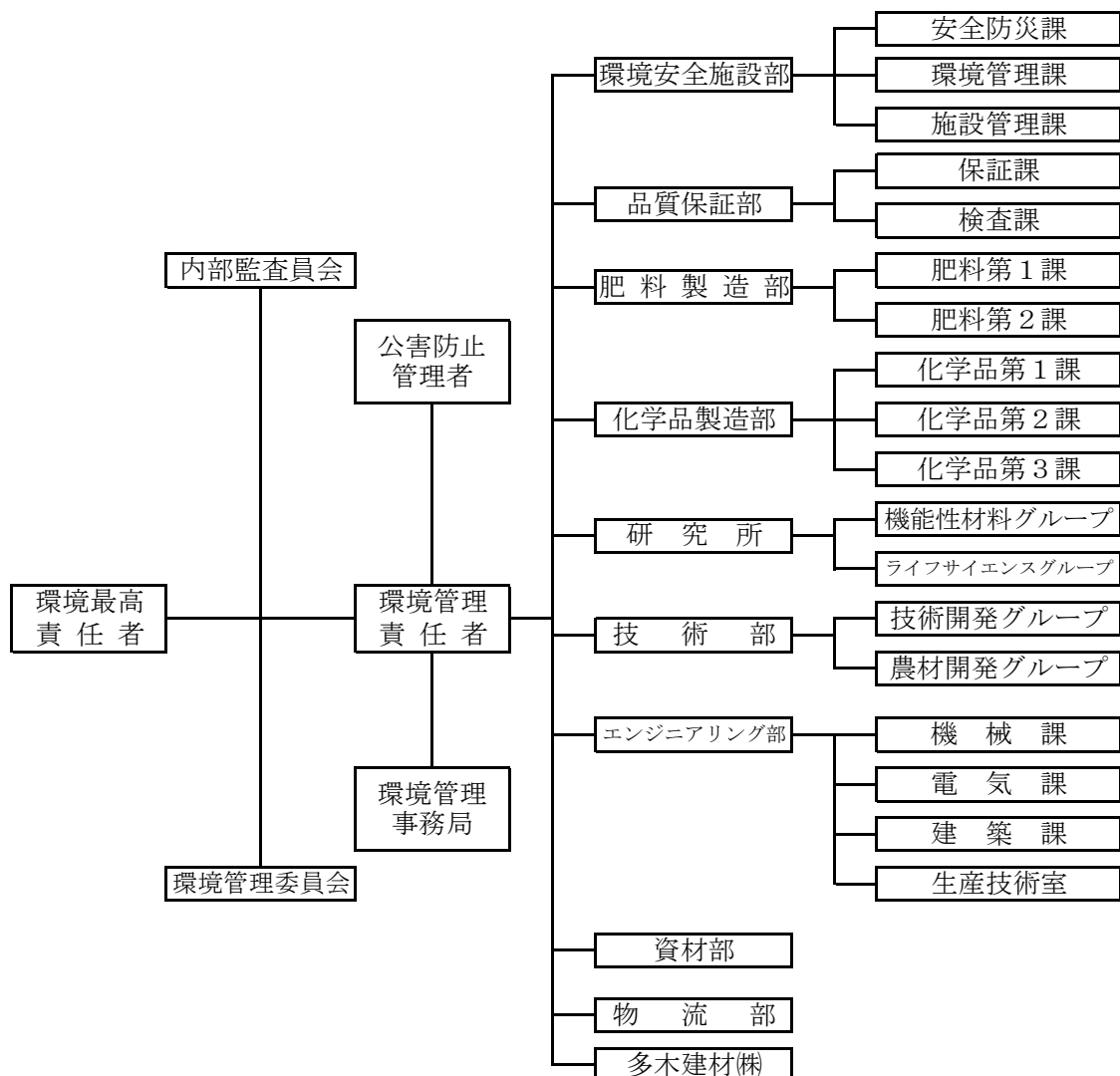
1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

1. 事業活動のあらゆる面で、環境影響の把握と環境負荷の低減を重視し、汚染の予防に努め、環境改善への取り組みを推進します。
2. 気候変動の緩和と持続可能な資源利用のため、省エネルギー・省資源、廃棄物の削減その他の継続的改善に取り組みます。
3. 環境関連法律・規制・協定、同意するその他要求事項を順守します。
4. 環境目的・目標を定め、実施し、定期的な見直しを行ないます。
5. 廃棄物の処理・再生に努め、循環型社会の形成に貢献します。
6. 地域の環境保全に努め、地域社会との調和に努めます。
7. 全従業員に対し、環境に関する教育及び意識向上啓蒙を行ないます。
8. この環境方針は文書により全従業員に周知させ、社外にも公開します。

公表の方法は、社内へは環境方針の複写物を作成し、全従業員に配布します。
社外より開示を求められた場合は、環境管理事務局が複写物を配布します。
また、弊社ホームページ上にも掲載し、一般に公表しています。

1-2 環境保全活動に関する組織体制



環境保全活動の取組結果及び計画

項 目	令和2年度取組結果	令和3年度取組計画
環境マネジメントシステム	取組計画）ISO14000：2015の継続認証 7月に内部監査によるシステム運用状況の自己チェックを行い、指摘事項に対して改善を行う。8月に外部審査機関による審査に臨み、認証が継続された。	ISO14000：2015の継続認証
廃棄物削減	取組計画）廃棄物外部排出量の抑制 外部排出量（再資源化率） 令和2年度：4,070t（76%） 令和元年度：4,760t（83%）（1～12月のデータ） 前年より690t減少。そのうち汚泥は、約500tを占める。 外部排出先での再資源化率は、汚泥の埋立割合が増えた影響で前年より7ポイント低下した。	・汚泥の発生量削減策の検討 ・再資源化業者への引き渡し割合向上
設備保全（投資）	取組計画）臭気・粉塵の建屋外への飛散防止 ①工場屋根葺替、出入口シャッター更新を実施（7箇所） ②有機肥料工場の蓄熱式脱臭炉定期点検を実施。 ③排ガス洗浄施設の点検補修を実施（2施設） ④定期的な場内外の臭気パトロールの実施 取組計画）薬剤漏洩防止策の継続 ①製品、原料タンクの点検、補修（6基） ②老朽化配管補修・側溝改修（6箇所） ③アンモニア設備保安検査（合格） ④アンモニア漏えいを想定した防災訓練実施 その他） ①高効率コージェネレーション設備を新設（1000kW×2基） ②社有車に電気自動車を導入。	・臭気・粉塵の建屋外への飛散防止 ・環境対策設備の定期メンテナンスの実施 ・薬剤漏洩防止策の継続
環境教育	取組計画）環境関連業務の力量の維持向上 ①工場の管理職、担当者に対して環境法令説明会（勉強会）を開催（47名参加） ②環境ISO認識教育（各部） ③環境ニュースの配信による啓蒙活動	環境関連業務（環境法令を含む）における力量の維持・向上
社会貢献活動	取組計画）工場周辺美化活動の継続実施 月1回実施 取組計画）生物多様性保全活動の支援 ①生物多様性ひょうご基金へ寄附を実施し、絶滅危惧種のチョウ類等の保護、森林の保全を行う2団体に活用いただく。 ②瀬戸内海への栄養塩類放流に関する瀬戸法許可申請を行い許可を得た（令和3年2月末に放流設備工事完了） 取組計画）フジバカマの育成・増株 工場敷地内で準絶滅危惧種であるフジバカマの栽培を継続した。 その他） ①消毒用アルコールの品薄に対応するため、加古川市様へ次亜塩素酸ソーダ、播磨町様へ除菌水（次亜塩素酸水）を寄贈した。 ②災害時に、避難所の開設、スマートフォン等充電用の電気及び生活用水の供給などを行う災害支援協定を播磨町様と締結）	・工場周辺美化活動の継続実施 ・生物多様性保全活動の支援継続 ・フジバカマの育成・増株 ・瀬戸内海への栄養塩類の放流（対前年2割増以上）
特定物質排出抑制	取組計画）特定物質の排出量削減 ①二酸化炭素排出量 令和2年度：16,375t 令和元年度：17,321t 前年度より9,46tの削減、2005年度比では、23.1%の削減 ②例年通り本社工場各課で各課で省エネ目標・活動計画を策定し、省エネ活動に取り組んだ。ただし、エネルギー原単位の対前年1%削減は達成できず。 ③物流のモーダルシフト 全出荷形態に占める（鉄道+船輸）の割合 令和2年度 11.0% 令和元年度 10.3% で微増。	・CO ₂ の排出量の削減（将来の脱炭素・カーボンニュートラルを念頭に置いた取組み） ・省エネ活動の継続実施（廃熱ロスの低減等）